



絆
きずな

図書館ボランティアだより

第31号

2018年6月 阪南市立図書館フレンズ広報部会発行

青いケシ

目次

自由*空間	「本当かしら」 「絵の愛好家としての私の経験(3)」	… P2
ご存じですか	「高速道路のパンク体験で感じたこと」	… P2
私のおすすめ	『バッタを倒しにアフリカへ』『5分後に意外な結末』 『クラスメイツ』 『ウイニー(「プーさん」になったクマ)』	… P3 … P3
図書館からのお知らせ		… P4

図書館フレンズを経験して

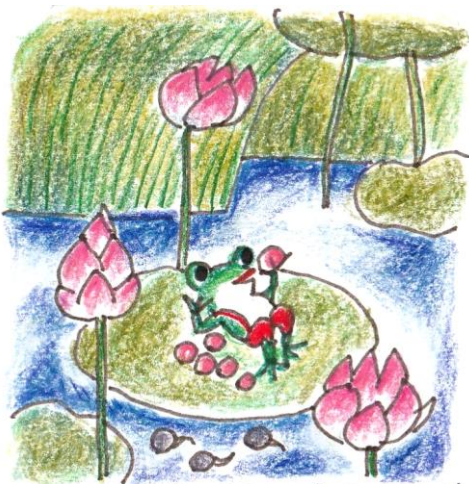
フレンズ代表 伊藤 郁夫

最近の気候は初夏と盛夏のあいだを振り子の様に揺れ動いて、爽やかな風が吹く日があるかと思えば蒸し暑い日があり、私の様な老体はこの変化に順応しきれずに厳しいものがあります。気候の変化に影響されず新緑から深緑へ変化する木々に逞しい生命力。自分にもこの生命力があればと思う時があります。

前置きはこれくらいにして、私が図書館ボランティアを始めたきっかけを紹介します。十年前、退職後のアルバイトも辞めて、「何か社会とのチャンネルを作らないと寂しいし、何もしないで認知症なんて言うのも困るしなあ」と思っていた時、久しぶりの図書館利用でカウンターに貼ってあるボランティア募集のチラシが目にとまりました。早速内容を確認したところ「何となく面白そうだし、屋内での作業は紫外線アレルギーの私にはうってつけの作業だ」ということで即説明会参加を申し込みました。数種類ある作業の中から、配架・書庫入れ・修理の三つを約三年間経験、最終的に一番達成感の得られる修理作業に専念することに

しました。最初の頃はただ機械的に作業するだけでしたが「習つよりの慣れよ」で、多数の経験を経た結果、最近では他のメンバーにアドバイス出来るレベルになっていると思います。でも修理は奥が深く、今まで修理した中で満足のいく修理は十冊に満たないと思います。

最後に、自分が長く図書館ボランティアを続けられた要因を考えると、自己実現という目的がある程度達成されていること、図書館スタッフ、ボランティア仲間との心地良い絶妙な距離感の二つだと思います。現在七十二歳、頑張らずに後とだけ続けられるか……。



『かえるのピタン』より

本当かしら

絵の愛好家としての私の経歴 (3)

しかし、子どもたちの絵の進歩を見ると、才能でなく適切な指導さえあれば誰もが、上手に描けるようになるのだと思いだした。

私は「見たこともない花を描こう」とか「先生の話を書いて描いてみよう」のような課題は与えなかった。

私は風景やタマネギやエンドウ豆などを課題とした。

そして図工の時間だけでなく、理科の時間や作文の時間も絵を描かせた。

すると、子どもたちはほとんどリアルに描きだした。子どもたちはリアリストだったのだ。

職業画家たちのたくさんの方々のスケッチや下絵を見て、彼らも練習し苦闘しているのだということを知った。ある美術書には「自分の背の高さほど絵を描かなければ、思うような絵を描けるようにはならない」と書いてあった。やはり、絵も才能だけではないのだ。努力が必要なのだ。私は一体

何を撮るたび怒られた。「顔を引け」引けば「下から覗むな」あの頃、こんな一説を知っていたら、少しポーズを変えたのかもしれない。だが、七十五歳の今、写真を撮るとき、左右どちらでもなく堂々と正面を向き、顎は突き出している。懐かしい思い出に、少々気分が軽やかになった。

自由空間



(完)

橋本 一郎

この夏、体調を悪くし、イヤライラ解消にと手にした一冊の本に引き込まれた。人の顔はだいたい、男女とも左右対称と言われるが、女性の顔に関しては、右側より左側がきれいらしい。人は右利きが圧倒的に多く、顔も右側がよく発達し、敏感で感情が露骨にあらわ

れ、左側はそれが出にくい上、全体的にスマートに見え、芸能人のプロマイドも左斜めから写したものが多くそうだった。中学生の頃、月丘夢路のブロマイドを見ながら、ノートに撮られた写真であったか記憶にない。

反対咬合の私は、証明写真

杣(そま)みつる

《ご存知ですか》

高速道路のパンク体験で感じたこと

近年ドライブしていて道路端でパンクの為にタイヤ交換をしている風景は、見るのが少なくなってきたように思われる。

私もパンクしたのは十二年前と記憶している。そんな状況の中、パンクに見舞われてしまった。それも事もあろうに阪神高速の三車線の真ん中車線で、夜の七時過ぎの通勤の帰宅時にほぼ全車線が詰まっている状態の中です。幸いその時はガソリンが残り少なくエコ運転の為に八十キロで走行中、パンクの瞬間も異常は感じ

ずグジュグジュというタイヤ音だけで、ハンドルを取られる事は無かった。ハザードをオンにして左により非常駐車帯に停め、まず保険会社のレッカー依頼と、阪神高速パトロール隊に電話し救助を待った。その時思ったのは、①救助の電話時、今の場所を正確にレッカー救助に伝えること。②安全確保のため車外に出ては危険。③突発時に備えトイレは余裕を持っておくこと。④スピードは控えめで走行する。今回の体験で冷や汗をかいて肝に銘じた。

Y.O

「こーこのはなしがまよま
つていて、とてもよみやすい。
六、七、八、九、十（巻）も
かいたらどうですか。」

新家心
こころ

△編集部より▽ 小学生が
投稿してくれました。ありが
とう。続編も別タイトルで全
十五巻出ています、題名の通
り、五分後に意外な結末が待
っています。

私のめすめ

『クラスメイツ』 前期・後期 森 絵都 / 著

出版社 借成社 Fモリ

二十四人のクラスメイト
一人ひとりを主人公とし、
入学式から終業式までの一
年間を二十四のストーリー
で教室中の出来事を！
中学生という思春期を思
い出させてくれる一冊で
す。

ぜひこの本を読んで本の
中の二十四人になってみて
はどうでしょう。

沢本 南風
みなみ

△編集部より▽ 中学生
が投稿してくれました。あり
がとう。この本は、二十四の
短編集で、前期・後期の二冊
に分かれています。中学一年
生の一年間で様々な出来
事・人間関係が二十四人それ
ぞれの視点から描かれた爽
やかな作品です。



『ウィニー』より

まず、表紙が衝撃的だ。大
の大人が顔を緑色に塗ってバ
ッタになりきって、でも手に
は捕虫網を持って構えている
写真。なんだ、この人は。バ
ッタになりたいのか、それと
も捕まえたいのか？

大なるため孤軍奮闘する、というも
の。結果を出さねば帰国しても
就職先がないという不安、異文
化の国で現地の人に囲まれる孤
独感、尊敬できる所長との出会
い、フィールドワークの相棒と
育む友情、「ウルド」という尊称
を贈られた喜び。著者が自分の
弱さも含めて正直に綴る文章
に、読者は徐々に引き込まれて
「がんばれ、コータロー」と心
援したくなること請け合い。ち

なみに、著者の子どもの頃か
らの夢は、バッタに食べられ
ること。大好きだから全身バ
ッタになりきって啓蒙にも努
めている。でも、人生の全て
を捧げているバッタ研究は、
バッタ防除のためのもの。愛
すべきコータローのこの大い
なる自己矛盾をこれからもず
っと見守っていききたい、と思
わせる一冊である。

中山 直子

『児童書』

『ウィニー（「プーさん」になったクマ）』

サリー・M・ウオーカ / 原作 汐文社 E

みんなが大好きな「クマのプーさん」。これ
は世界中で愛されているお話ですが、モデル
になったクマが実在していたことは知ってい
ますか？

陸軍の獣医ハリーが汽車での移動中、駅の
ホームで見つけた一匹の子グマ。

売りものにされていたそのクマは、やがて
陸軍のマスコットとしてすくすく成長し、ウ
ィニーとよばれていました。戦争が次第に激

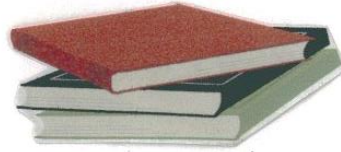
しくなり、戦場へ行くことになったハリーはウ
ィニーを動物園に預けます。

動物園で人気物となったウィニーに、作家の
ミルンと息子のクリストファー・ロビンが出会
い、「クマのプーさん」のお話のきっかけとな
ったのです。こうして「プーさん」はお話の中
で愉快的日々を過ごします。

少し物悲しくも、やさしいもう一つの「プー
さん」のお話です。 芦辺 幸子



図書館からのお知らせ★★★



図書館フレンズ活動報告

★2017年度は「ブックスタート部会」、「おはなしでてこい部会」、「はじまりはじまり♪紙芝居部会」が加わり、合計10部会でスタートし、活動してきました。

図書館主催の「本のリサイクル」が6月に終了し、2018年度からは修理・清拭・装備・リサイクル部会が一つになり、部会名を図書整備部会と改め、現在9部会で活動しています。

★2017年度の活動延べ人数の集計は、下記のとおりです。

配架部会に1,533名、書庫入れ作業部会に326名、修理・清拭・装備部会に471名、館内装飾部会に35名、リサイクル部会に71名、広報部会に65名、生け花等環境整備に196名、ブックスタート部会に57名、おはなしでてこい部会に24名、はじまりはじまり♪紙芝居部会に63名が参加し、**年間の延べ参加人数が2,896名**にもものぼりました。登録者は96名ですので、1人平均30～31日活動したことになります。

また、修理冊数は3,109冊、清拭冊数が3,590冊、装備冊数613冊とたくさんの本が整備されて図書館の資料に加えられました。



図書館フレンズ事務局担当者が変わりました！

長年担当をしてこられた廣瀬が定年退職し、平成30年度からは新しく来た木村が担当になりましたので、ご紹介します。

＝★自己紹介★＝

みなさん、はじめまして！今年度から事務局担当となった木村と申します。もともと私は看護師として阪南市立病院に勤めていました。病院が民営化になった為、市役所で勤めることになりました。介護保険課、生活支援課を経て、初めて図書館に配属されました。全く関わったことのない部署で何も解りませんが、徐々に覚えていこうと思います。今は図書の用語も解らずで、業務を覚えていくのにアタフタ状態ですが、日々、図書館に多大なご協力をしていただいている図書館フレンズ皆さまのことを少しずつ知っていき、一緒に頑張っていけたらと思っています。前担当者の廣瀬にはおよびませんが、ご指導、ご協力の程よろしくお願い致します。木村 久恵

リサイクルブック“つながり”活動報告

平素から、図書館フレンズの皆様にご協力いただき厚くお礼申しあげます。

昨年9月のオープン以降、通常営業日の土曜日は平均約100人のお客様が来店しています。また、サラダホールのイベントに合わせた臨時営業では通常営業日の2倍200人ほどのお客様が来店しました。

本年6月上旬までの入場者数は約4,200人、販売冊数は約5,200冊となっています。

本会の活動には人的支援が必要ですので、是非、ご入会、ご協力をお願い申しあげます。

今後ともよろしくお願い申しあげます。

本のリサイクル運営委員会事務局